

報道機関 各位

令和 7 年 7 月 31 日

白馬村長 丸山 俊郎

国土交通省「二地域居住先導的プロジェクト実装事業」を活用して 白馬村における二地域居住推進事業を実施します

白馬村は、株式会社八十二銀行（本店：長野県長野市、頭取：松下正樹）、株式会社カヤック（本店：神奈川県鎌倉市、代表取締役 CEO：柳澤大輔）、JOINS 株式会社（本店：長野県北安曇郡白馬村、代表取締役：猪尾愛隆）、H2 Innovator 合同会社（本店：長野県北安曇郡白馬村、代表取締役：山口聡一郎）と「白馬村二地域居住推進コンソーシアム」を結成し、国土交通省が実施する「令和 7 年度 二地域居住先導的プロジェクト実装事業*」に採択されました。

本取り組みでは、移住・二地域居住の課題となる「住居不足（住まい）」、「地域企業での仕事の確保（なりわい）」、「地域住民とのつながり（コミュニティ）」について、一元的に対応することで障壁を下げ、令和 7 年度末までに地域企業採用・二地域居住者 5 名、令和 11 年度末までに地域企業採用・二地域居住者 計 50 名の流入を目指します。

事業の詳細は別紙をご参照ください。

*国土交通省 令和 7 年度「二地域居住先導的プロジェクト実装事業

全国的な人口減少・少子高齢化により地域の持続性が脅かされている中、二地域居住等の促進を通じて地方への人の流れを創出・拡大するため、二地域居住等における中長期的な課題の解決に向けた先導的な取組を支援し、その課題や効果・影響等を検証することにより、課題解決に資する対策や取組の実装を図るものです。

https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kokudoseisaku_tk9_000058.html

〒399-9393

長野県北安曇郡白馬村大字北城 7025 番地

白馬村役場 総務課

課長：田中 克俊 担当：渡邊 宏太

TEL：0261-72-7002 FAX：0261-72-7001

E-mail：kikaku@vill.hakuba.lg.jp

白馬村二地域居住先導的プロジェクト実装事業 住まい・なりわい・コミュニティの一元化による二地域居住促進

■ 背景となる課題

コロナ禍以降、東京圏在住者の地方移住への関心が高まり、20代の約半数、全年齢でも約35%が地方移住への関心を示しています。(2023年5月内閣府調査*1) また、約3割が二地域居住等への関心層とのアンケート結果(2022年度国土交通省調査*2)もあります。

少子高齢化・人口減少が進む日本では、都市と地域の持続可能なバランスを再構築することが重要な課題であり、2024年11月に二地域居住の促進を通じて地域への人の流れを創出・拡大するための「広域的地域活性化のための基盤整備に関する法律の一部を改正する法律(いわゆる『二地域居住促進法』)」が施行され、制度面からも後押しが進んでいます。

その一方で、白馬村は、国内外からの観光客は増加傾向にあるものの、定住者が減少傾向にあり、地域企業の慢性的な人材不足や地域コミュニティの担い手の不足、民泊施設への転用等による住宅不足が地域の課題となっています。

*1 第6回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査(内閣府令和5年4月)

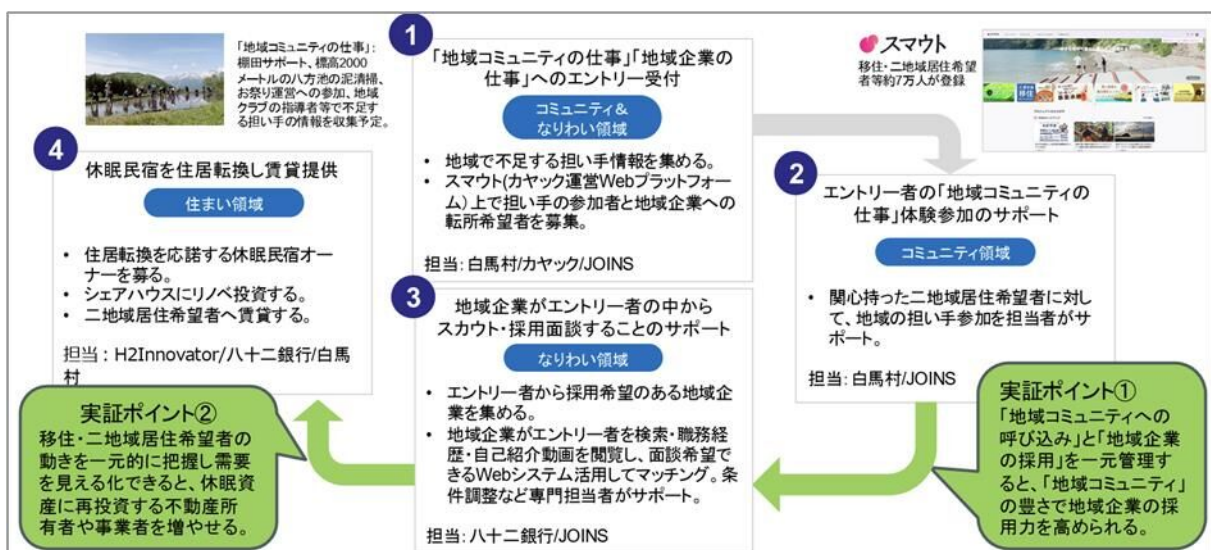
https://www5.cao.go.jp/keizai2/wellbeing/covid/pdf/result6_covid.pdf

*2 令和4年度 国土交通省 地方移住・二地域居住等に関する調査

<https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001712109.pdf>

■ 具体的に取り組む解決策

移住・二地域居住における課題である「住まい」、「なりわい」、「コミュニティ」に包括的に取り組むとともに、一元的に情報を管理・発信することで、二地域居住者を積極的に受け入れ、地域企業の人材不足及び地域コミュニティの担い手不足の解消を図りながら、最終的には定住者を増やすことを目的として、以下の取り組みを実施します。



1. 人材と地域活動のマッチング

地域企業の求人情報に加え、環境保全活動や伝統行事、各種イベントのボランティア、スポーツや文化芸術分野の指導など、地域活動の担い手の募集情報も発信します。

これにより、二地域居住の希望者へ経済的安定を得るための仕事と共に、地域活動に参加する機会を提供し、地域活性化に寄与する活動に積極的に関わることで、二地域居住者が地域コミュニティに溶け込むきっかけを創り、定着の促進を目指します。

2. 遊休宿泊施設のシェアハウス転用

白馬村内の遊休宿泊施設を借り上げ、長期滞在用のシェアハウスに改修します。

これにより、二地域居住希望者の住居の初期費用を抑えるなど、住まいに関するハードルを下げ、二地域居住者が安定した生活基盤を築くための重要なステップを作ると共に、地域における住居問題の解決を目指します。

■ コンソーシアム参画団体と役割

参画団体	主な役割
白馬村	地域活動の担い手のマッチング支援・受入態勢整備
株式会社カヤック	スマウトを通じた二地域居住情報のマッチング・PR
株式会社八十二銀行	地域企業の求人課題や人材要件の掘り起こし
JOINS 株式会社	二地域居住者と地域企業のマッチング支援
H2 Innovator 合同会社	遊休宿泊施設のリノベーション、シェアハウス運営

<参考資料>

◆地域の仕事・暮らし・体験マッチングサービス「スマウト」について

「スマウト」は、移住に興味のある人や地域とつながりたい人と、地域の人とをマッチングする Web サービスです。2018 年 6 月にサービスが開始され、登録自治体は約 1,120 団体、約 71,500 人がユーザー登録しています。(2025 年 6 月時点)

「求人」「暮らし」「空き家」「体験」など、地域のオリジナリティーあふれる切り口で、自治体や地域企業等がプロジェクトを企画・制作し、地域おこし協力隊の募集やお試し住宅、現地ツアーの参加募集、地元の人や移住した先輩とオンラインで話す機会の提供等を提供します。

また、プロフィールを見て地域からスカウトすることも可能で、ユーザーと地域の人が直接メッセージをやりとりすることもできます。

地域の活動状況やユーザーからのリアクションをグラフとして可視化したり、公開したプロジェクトへのユーザー属性や関心度を分析したりできるダッシュボード機能や、つながったユーザーの一元管理も可能で、地域 DX 推進にも寄与する関係人口デジタルプラットフォームです。

<https://smout.jp/>

民宿・ペンションなど

遊休宿泊施設を活用 しませんか

売却の必要なし

白馬村では、二地域居住の促進による地域の担い手の確保や定住人口の維持を目指して各種施策に取り組んでいます。一方で移住や二地域居住の方が白馬で暮らすための住まいが不足しています。

そこで宿泊施設として営業している、または営業していた民宿やペンションをアパートやシェアハウスへ転換することで、特に单身向け住居を増やす事業をコンソーシアム(共同事業体)を組み、遊休宿泊施設を募集いたします。

活用方法

宿泊施設を住まい機能へ転換



転換例：

- ・ 白馬村内企業に勤める社員の寮
- ・ 单身向けアパート
- ・ 人々が集うシェアハウス

ご希望にあわせて、宿泊施設として存続するための運営委託や、その他の活用もご提案いたします

メリット

- ・ 遊休宿泊施設は売却せずに所有したまま、賃貸することで安定した家賃収入が可能
- ・ そのまま住み続けることも可能
- ・ 管理人として業務をお願いすることも可能
- ・ 長野県外・白馬村外から移住し、初めて白馬で暮らす独身の方
- ・ 白馬と都会の二拠点生活をする方の白馬での拠点としての利用
- ・ 白馬への移住をおためしする方

ご利用者 イメージ

本取組は、以下の企業・団体が結成した「白馬村二地域居住推進コンソーシアム」(国土交通省が実施する令和7年度「二地域居住先導的プロジェクト実装事業」採択)の元、エイチツーイノベーター合同会社が遊休宿泊施設のシェアハウス等への転換・運営を担当致します。

 白馬村  H2 Innovator  白馬村  JOINS  八十二銀行

費用

基本的に無料

※施設により設備などに入れ替えが必要な場合、ご負担が発生する場合がございます

住居の管理・清掃は おまかせ可能



エイチツーイノベーター合同会社
代表 山口 聡一郎

2012-2017 白馬リゾートホテル ラネージュ東館 コンシェルジュ & マーケティングマネージャー
2017-2021 Snow Peak FIELD SUITE HAKUBA KITAONE KOGEN(グランピング) 開業責任者・支配人
2020- 現在 持続可能な白馬村の宿泊施設づくりを考える「白馬村宿泊イノベーションチーム」メンバー兼事務局
2024/12月 白馬村八方の民宿「雪の荘」を運営受託の形で事業承継しゲストハウススタイルの宿として再オープン

お問い合わせ

090-7511-0213

yamaguchi@h-innovator.jp

担当：山口（エイチツーイノベーター合同会社／白馬村）